

労山祭二日目山行④ 武甲山

いつかは登ってみたい武甲山

K藤

今年の労山祭は、「二日とも植林になるかも知れない。」と説明されていたが、植林が一日で終わったら二日目はどうなるの？と思っていった。しかし、山行部長から、植林が一日で終わった場合の二日目（10月4日）の山行計画の問い合わせがあった。おぼろげに、キャンプ場が浦山口なので、こちらからの武甲山往復を考えた。

山行部長からのメールでは、大知さんの計画が「武甲山⇄武川岳 ⇄ 大持山・小持山」だった。武甲山ならば参加させてもらおうと思ったのですが、○知さんの計画は「武川岳⇄大持山⇄小持山⇄武甲山」だったので、私の脚力では歩き通

せない。「志賀坂峠⇄蓬萊山」は諏訪山から先が難しそう、「若御子山」は若御子峠までは一般登山道だが、その先は不明瞭で危険度★★★なので私には無理、狩倉岳も登山地図に道が無いので私には無理。美の山はどういう山行計画か不明だが、山頂まで道路がある山はもう少し歳をとってからの残しておこう。

というわけで、単独でもいいから武甲山ピストンにでもしようと思った。秩父の名峰に向かっ「・・・にでもしよう」とは失礼きわまり無い。いつかは登ってみたいと思っていたが、横瀬駅から延々とセメントの粉の巻き上がる車道を歩く気にはならなかった。誰か自動車

を出してくれる同行者がいた時に行きたいと思っていたが、まあ成り行きで単独登山でもいいか、と決めた。

クレヨンしんちゃんの作者が遭難したときに、「単独登山はやめよう」と思い山岳会に入れてもらったのに、何をやっているのだろうか？あまり気乗りしてないので、準備も直前にばたばた。山行前には地元で登山道の状況を確認するのがセオリーなので、直前の10月2日に観光協会に電話すると「秩父市（浦山口）側からは、橋が崩壊しているので通行止めです」とのこと。通れなくは無いだろうが、万一の時に「通行止めなのに」と言われたら悔しい。という事で、

生川（横瀬）側からの往復登山（ピストン）に変更して計画書を再提出した。すでにここまで、悪い登山の見本だ。ここからが登山当日の話です。

朝4時半に、リュックサック・寝袋・靴をそっと持って部屋を出る。支度を整え、起きて来た会長に断り出発した。あと片付けを手伝わずにすみません。

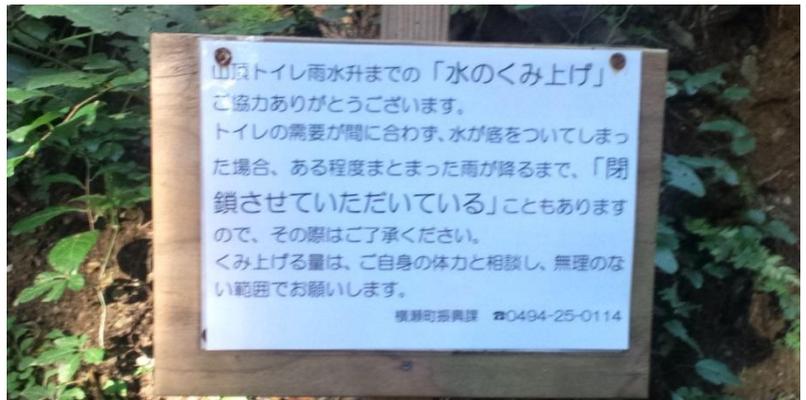
生川（横瀬）側の武甲山登山口（一の鳥居）の無料駐車場に着き、準備をしていると、大知さんが歩いて来る。聞くと「急用が来たので今日の登山は中止します。でも、登山口だけ確認しに来ました」との事。丁度私は、テープスリングを体に巻きつけた簡易ハーネスを装着していたところで、「えっ」という顔で見

るので、「いつ必要になるかわからないので、登山開始時に装着する事になっている」と説明した。歩き出して、しばらくで生川林道に合流する。この先しばらくは林道を歩く事は知っていたので、オートバイでずるする事も考えたが、一応、一の鳥居から歩く事にしたのだが、登りだ

けで無く、下りもこの林道はきつかった。

林道から分かれて再び登山道に入り、しばらくで水場のある不動滝に着く。ここで、ペットボトル2本に合計3リットルの水を詰めて登る人がいた。山の水を持ち帰り、お茶やお酒に使う人がいるが、これからまだずいぶん登らなきゃならないのに？聞けば山頂まで担ぎ上げるそうさ。「もの好きだな」と思ったが、そうではない。そこには掲示板があり、山頂のトイレの為に水の運搬を協力して下さいという内容だ。水場のそばに水が入ったペットボトルがたくさん並んでいた。私は体力に自身が無いので遠慮した。

このコースは「丁目石」が細かく置かれていて励みになる。スタートの一の鳥居は一丁目、ゴールは五十二丁目だそうさ。少し歩くと次の丁目石があり、



進んでいる事を頭でも実感できるから良い。気がついたら、ひとつ見落として、丁目がふたつ進んでいると「よっしゃ」という感じ。なんとか、ギブアップする前に山頂広場に着く。大持山・小持山、浦山口からの登山道と合わり、大きな御嶽神社の本殿と、公衆トイレがある。公衆トイレの水は御嶽神社の小さな付属建物の雨どいの水が貯まる様になっている様だが、大きな本殿の屋根の水を集めれば十分に足りる様な気がするが、神社の屋根には雨樋を付けちゃいけないのだから？それなら下に排水溝を、とか工夫しようがありそうだが。

そんな余計な事を考えながら歩くと、山頂間近で道迷い。「↑第一展望台」と標識があるが、私が行きたいのは山頂だから、まあ、ともかく高いところへ登れば山頂だろうと思っていたら、

フェンスに囲まれた行き止まり。『エッ?!』山頂はどこだ、仕方なく第一展望台の方へ行くと、小さな広場に山頂標識があった。でも、間違いなくここが一番高い所では無い。セメント会社は何で山頂まで削ってしまったのだろうか？お役所もよく許可したものだ。遠くに両神山も見えて北東側の見晴らしは良いが、冬に来れば富士山も見えるのかな？

第一展望台(山頂)は狭いので、すこし戻って広場で昼食にする。公衆トイレの反対側に屋根にソーラーパネルの付いた小屋があり、ベンチ付きの休憩所になっている。「火気厳禁」と掲示されているが、水さえあれば泊まれているが、水さえあれば泊まらそうさ。

午前中の涼しいうちに登れたのでよかったが、だんだん暑く感じるほどの好天だ。いつも通りに「下りだから注意して」と

自分に言い聞かせて下山開始。最近は登りもきつい、下りもきつい。でも、下りも丁目石が励みになる。不動滝まで戻れば、もうすぐだ。と、思ったら林道の下りがひざにひびく、次からは林道分岐までバイクで来よう。なんとか、一の鳥居に無事帰還。好天の日曜日なので駐車車両はかなり下の道路の路肩まで延びているが、無料駐車場内は半分以上がすでに退去済みだった。単独登山であったが、無事下山できて本当に良かった。オートバイで帰路に着く。横瀬駅の近くで振り返ると、武甲山は逆光なので、削られた面が目立たないので記念写真を一枚。大宮労山の合宿(労山祭)は、登山プランを自由に計画できるのが素晴らしい。単独登山は、コースも、出発時間も、歩くペースも、自分勝手に楽で、それも楽しいのだが・・・さあ、次

は大好きな雲取山だ！

期日 10月4日(日)



コースタイム

生川(横瀬)側 武甲山登山口(一の鳥居) 6:45 — 生川林道分岐 7:18
— 不動滝 7:30 — 大持山・小持山、浦山口登山道 分岐 9:00 —
武甲山山頂(第一展望台) 9:11~10:00 — 不動滝 11:23 —
生川(横瀬)側 武甲山登山口(一の鳥居) 11:55